

〔1〕産科データ

分娩数536例
初産婦299例、経産婦237例
母年齢：平均30歳(18～42)

年	分娩件数	新生児数	多胎件数	37週未満新生児		34週未満新生児		2500g未満新生児		2000g未満新生児	
				数	率(%)	数	率(%)	数	率(%)	数	率(%)
2008年	536	536	0	11	2.1	1	0.2	42	7.8	2	0.4

	出生週数(w)別出生数	
	数	率(%)
22	1	0.2
23 ≤ <35	0	0.0
35	1	0.2
36	9	1.7
37 ≤ <40	374	69.8
40	113	21.1
41	38	7.1
42 ≤	0	0.0
合計	536	100.0

平均 39.3 ± 1.3 (22週2日～41週6日)

	出生体重(g)別出生数	
	数	率(%)
< 500	1	0.2
500 ≤ <1500	0	0.0
1500 ≤ <2000	1	0.2
2000 ≤ <2200	3	0.6
2200 ≤ <2500	37	6.9
2500 ≤ <3800	489	91.2
3800 ≤ <4000	2	0.4
4000 ≤	3	0.6
合計	536	100.0

平均 2979 ± 428 (470g, 1870g～4276g)

年	硬膜外麻酔分娩		帝王切開		吸引分娩		鉗子分娩		会陰切開		誘発・促進剤使用		医療介入	
	数	率(%)	数	率(%)	数	率(%)	数	率(%)	数	率(%)	数	率(%)	数	率(%)
2008年	0	0.0	62	11.6	62	11.6	0	0.0	119	22.2	108	20.1	231	43.1

選択帝王切開	42
緊急帝王切開	20
合計	62

帝王切開の適応	例数	%
既往帝切後妊娠	32	51.6
骨盤位	13	21.0
子宮筋腫核出術後	1	1.6
胎児胎盤機能不全	10	16.1
前期破水・右手先進	1	1.6
児頭回旋異常	2	3.2
児頭骨盤不均衡	2	3.2
軟産道強靱・分娩停止	1	1.6
合計	62	100.0

アプガー スコア	例数	
	1分	5分
3	1	0
4	2	0
5	6	0
6	4	1
7	10	1
8	99	17
9	398	423
10	15	93
合計	535	535

(22週出生の1例を除く)

- ・ 誘発・促進剤使用の108例中、分娩誘発は25例。・・・選択帝王切開(下記46例)を除いた490例の分娩誘発率は 5.1%
- ・ 既往帝切後妊娠、骨盤位、子宮筋腫核出術後の46例を除いた帝王切開率は16例、3.3% (=16/(536-46))
その16例の分娩週数は、39週が3例(39週分娩の 1.6%)、40週が7例(40週分娩の 6.2%)、41週が6例(41週分娩の 15.8%)
- ・ 41週分娩の38例中10例が誘発目的での入院で、その帝王切開率は3例、30%。自然入院の28例中3例が帝王切開で、その帝王切開率は 10. 7%
- ・ 会陰切開は経膈分娩474例において
初産婦 274例中111例(40.5%)、経産婦 200例中8例(4.0%)
- ・ 会陰切開も裂傷もなかった症例は
初産婦 274例中30例(10.9%)、経産婦200例中53例(26.5%)
- ・ 児性別・・・男272例、女264例
- ・ 光線療法・・・76例(14.3%)

母体の高次医療機関への紹介・搬送例 …… 55例

	適応	例数	当院へ逆紹介
母体	切迫早産	27	5
	双胎	3	
	妊娠高血圧症	2	
	HELLP症候群	1	
	常位胎盤早期剥離	1	
	前置胎盤	1	
	重症妊娠悪阻	1	1
	分娩停止(C/S目的)	1	
胎児	胎児胎盤機能不全	2	
	脳室拡大	2	1
	胎児腎嚢胞	1	
	単一臍帯動脈	1	1
	IUGR	1	
合併症	尖圭コンジローマ	2	1
	卵巣腫瘍	2	1
	高度肥満	1	
	尿管結石	1	
	てんかん合併妊娠	1	
	意識消失発作	1	
	めまい	1	
	小脳梗塞後の妊娠	1	
子宮頸部細胞診 IIIa	1		
	合計	55	10

〔2〕入院中栄養状況

年	新生児数	除外例		対象児数	人工乳追加		糖水追加		母乳のみ 数	完全母 乳率(%)	児を預かった母子	
		数	率(%)		数	率(%)	数	率(%)			数	率(%)
2008年	536	7	1.3	529	37	7.0	37	7.0	463	87.5	0	0.0

(搾母乳追加11例)

- 除外例内訳・・・新生児搬送6例、22週早産1例。

- 新生児搬送の内容

呼吸障害	2
発熱	2
横隔膜ヘルニア	1
ダウン症候群	1

- 退院後の児紹介例（22週早産、新生児搬送、及び退院後他院に入院した4例を除いた525例中）

心雑音	24
奇形・先天異常・ダウン	2
クレチン症疑い	2
体重増加不良	2
後頸部浮腫・筋緊張低下	1
四肢痙攣様運動	1
無呼吸発作	1
不整脈	1
頭位増大疑い	1
色素性母斑	1
赤色便	1
顔面神経麻痺	1
聴覚異常	1
not doing well	1
色素沈着	1
漏斗胸	1
気道狭窄疑い	1
便秘	1
ソケイヘルニヤ	1
HB感染防止	1
合計	46

〔3〕母乳率

年	対象児数	退院時						
		人工乳のみ		混合		母乳のみ		
		数	率(%)	数	率(%)	数	率(%)	
2008年	529	0	0.0	28	5.3	501	94.7	501名中4名に搾母乳追加

以下の検討は、上記529例のうち、退院後1ヶ月健診までの間に他院に入院した4症例を除いた525例。

- ・ 除外例の内容・・・筋緊張低下、急性腸炎、気管支炎、無呼吸発作（甲状腺機能低下症）各1例

年	対象児数	2週間健診時						データ無 数	
		人工乳のみ		混合		母乳のみ			
		数	率(%)	数	率(%)	数	率(%)		
2008年	521	1	0.2	50	9.6	470	90.2	4	データ無4例は未受診 470名中2名搾母乳追加

年	対象児数	1ヶ月健診時								データ無 数	
		人工乳のみ		混合		母乳のみ		完全母乳			
		数	率(%)	数	率(%)	数	率(%)	数	率(%)		
2008年	524	5	1.0	83	15.8	436	83.2	390	74.4	1	データ無1例は未受診 436名中1名搾母乳追加

1ヶ月健診未受診の1例を除いた524例について

分娩週数が37週未満、または出生体重が2500g未満の48例については、

年	対象児数	1ヶ月健診時								
		人工乳のみ		混合		母乳のみ		完全母乳		
		数	率(%)	数	率(%)	数	率(%)	数	率(%)	
2008年	48	1	2.1	11	22.9	36	75.0	31	64.6	36名中0名搾母乳追加

帝王切開の60例については

年	対象児数	1ヶ月健診時								
		人工乳のみ		混合		母乳のみ		完全母乳		
		数	率(%)	数	率(%)	数	率(%)	数	率(%)	
2008年	60	2	3.3	7	11.7	51	85.0	46	76.7	0名中0名搾母乳追加

分娩週数が37週未満、または出生体重が2500g未満、または帝王切開例を除いた427例については、

年	対象児数	1ヶ月健診時								
		人工乳のみ		混合		母乳のみ		完全母乳		
		数	率(%)	数	率(%)	数	率(%)	数	率(%)	
2008年	427	3	0.7	68	15.9	356	83.4	320	74.9	358名中1名搾母乳追加

[4]体重減少増加率〔体重の%は出生体重に対しての減少増加の割合〕

2008年	最低体重日		退院日		2週間健診日		1ヶ月健診日		
	日齢	増減率(%)	日齢	増減率(%)	日齢平均	増減率(%)	日齢平均	増減率(%)	増加量(g/日)
平均	2.9	-9.1	5.0	-6.1	13.6	4.3	31.6	31.3	41.3
標準偏差	1.1	2.7	1.2	3.9	2.4	8.9	2.6	14.8	12.2
最小	1	-17.0	3	-15.9	7	-17.7	21	-9.1	2.2
最大	9	-2.8	13	12.6	26	28.0	46	115.4	115.0

退院時から1ヶ月健診までの体重増加量(g/日)別例数

増加量	数	増加量	数
<10	3	35-	70
10-	8	40-	107
15-	16	45-	84
20-	25	50-	67
25-	39	55-	30
30-	49	60-	26
		計	524